

2 家庭における出産や子育てについての意識

(1) 希望する子ども人数 (Q6)

【Q5 aで「1 結婚している」と回答した 20 歳～49 歳の方に】

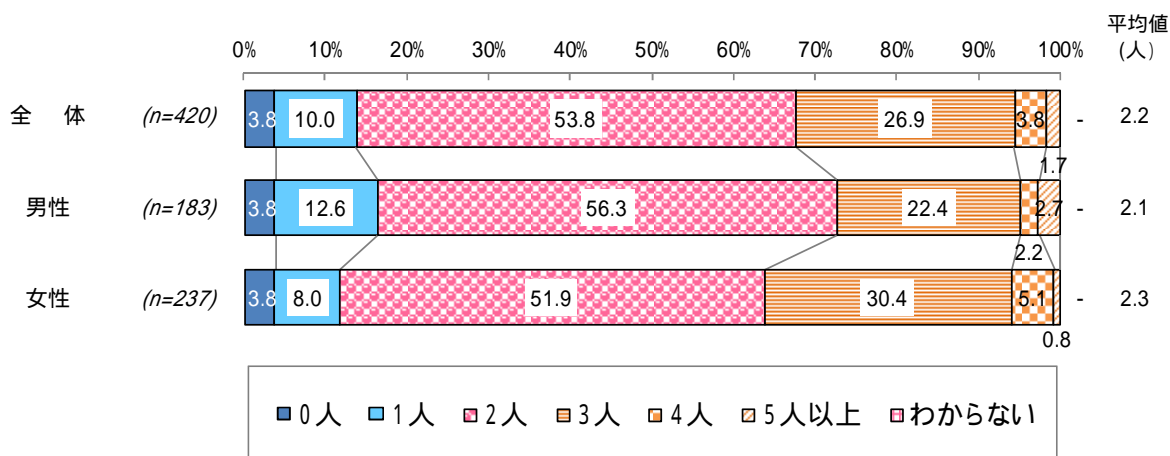
Q6 あなたは、全部で何人の子どもを欲しいですか。

すでにお子さんがある場合には、そのお子さんも含めてお答えください。

_____ 人

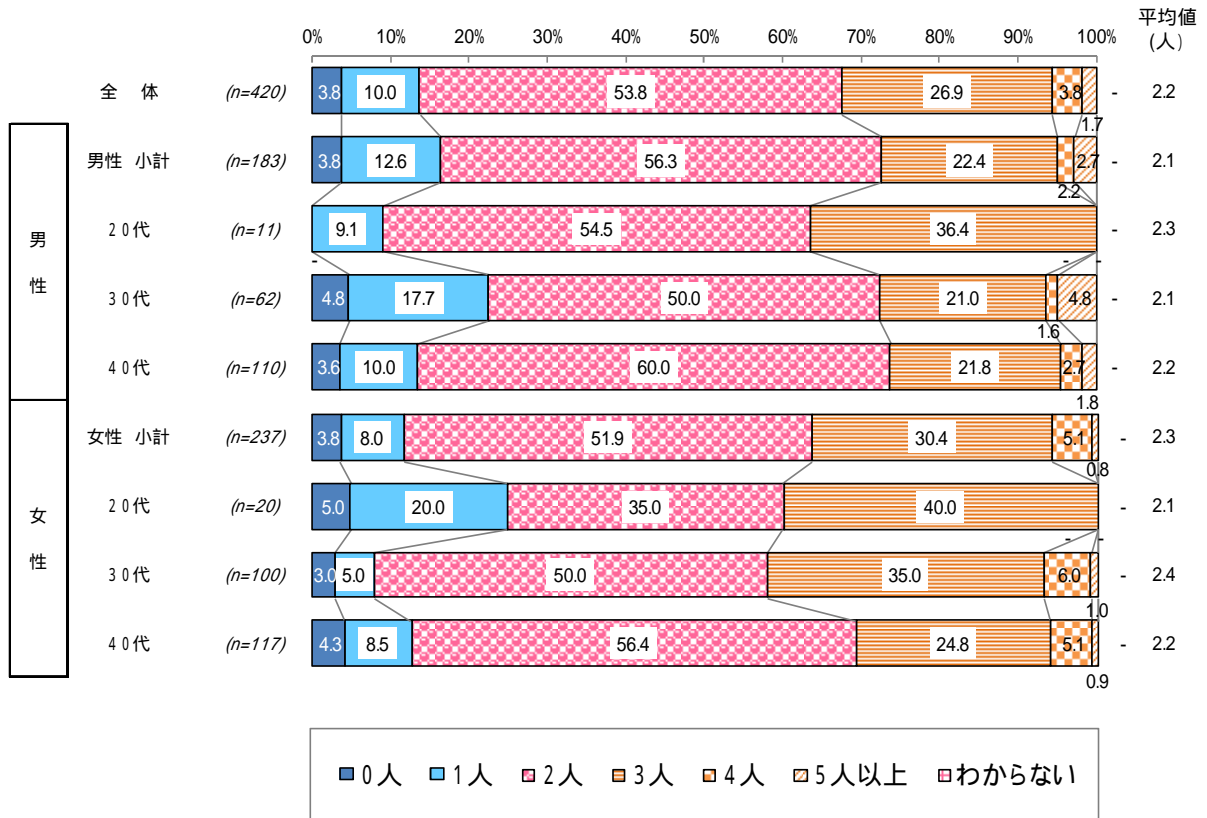
- 現在、結婚している 20 歳～49 歳の回答者 (420 人) に、希望の子ども人数を聞いたところ (図表 2-1-1)、「2 人」という回答者が 53.8%で最も多く、次いで「3 人」が 26.9%となっている。
- 平均の希望人数は 2.2 人である。
- 性別にみると、「3 人」(男性 22.4%、女性 30.4%) は女性が男性よりやや多く、女性の 3 割が希望している。
- 平均希望人数は、男性 2.1 人、女性 2.3 人となっている。

図表 2-1-1 希望する子ども人数<SA> (20 歳～49 歳有配偶者、全体・性別)



- 性・年代別にみると（図表 2-1-2）、いずれの層でも平均 2 人以上となっている。

図表 2-1-2 希望する子ども人数＜S A＞（20 歳～49 歳有配偶者、性・年代別）



(2) 今後、子どもを持つ場合の条件 (Q7)

【Q5aで「1結婚している」と回答した20歳～49歳の方に】

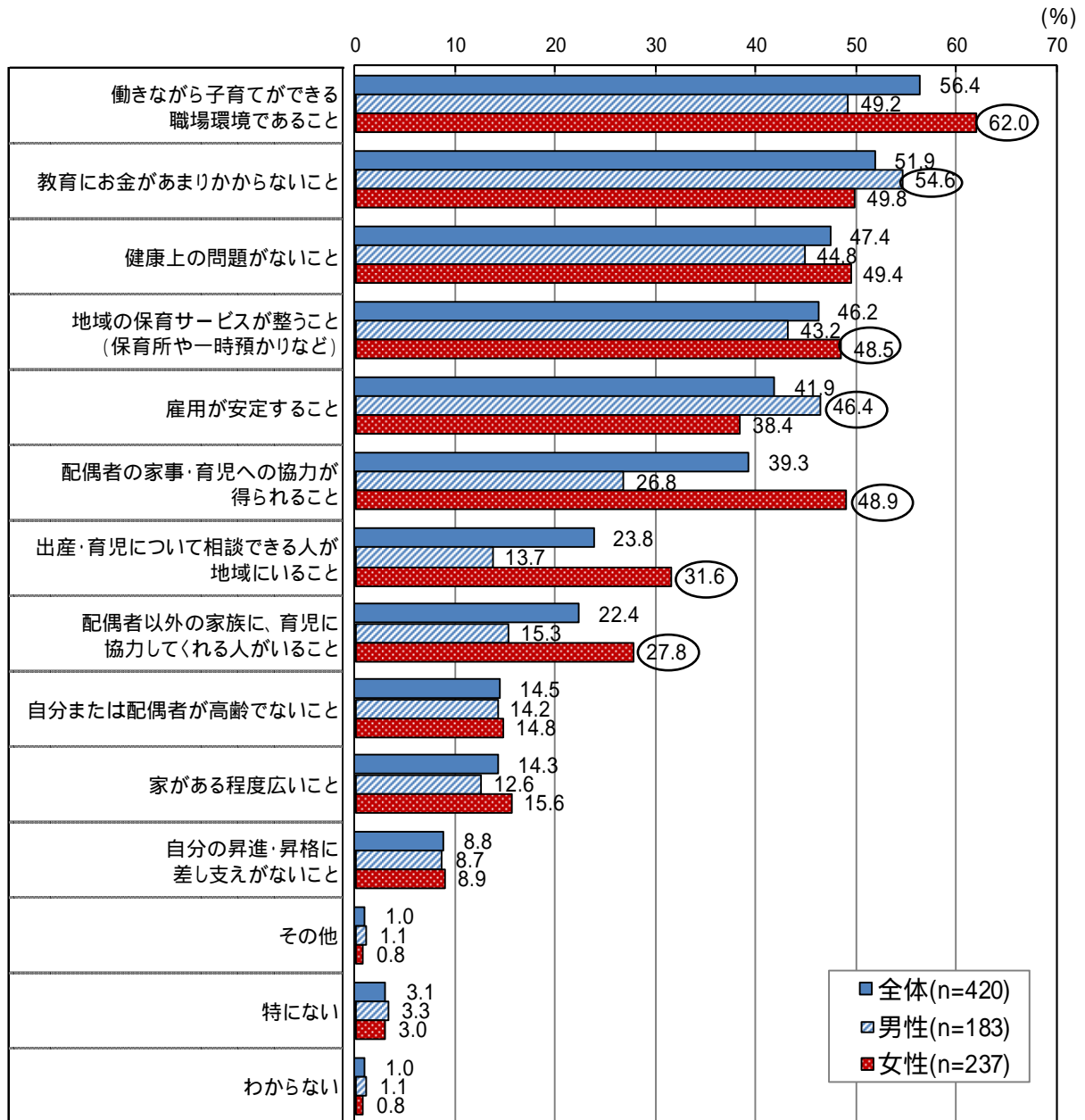
Q7 [回答票8] あなたが今後、子どもを持つ場合の条件としてはどんなことが考えられますか。

あてはまるものをいくつでも選んでください。(M. A.)

- (ア) 教育にお金がかかりすぎること
 - (イ) 地域の保育サービスが整うこと (保育所や一時預かりなど)
 - (ウ) 出産・育児について相談できる人が地域にいること
 - (エ) 雇用が安定すること
 - (オ) 働きながら子育てができる職場環境であること
 - (カ) 自分の昇進・昇格に差し支えがないこと
 - (キ) 家がある程度広いこと
 - (ク) 自分または配偶者が高齢でないこと
 - (ケ) 健康上の問題がないこと
 - (コ) 配偶者の家事・育児への協力が得られること
 - (サ) 配偶者以外の家族に、育児に協力してくれる人がいること
- その他 ()
- 特にない
- わからない

- 現在、結婚している20歳～49歳の回答者(420人)が、今後、子どもを持つ場合の条件としては(図表2-2-1)、「働きながら子育てができる職場環境であること」が56.4%で最も多く、以下「教育にお金がかかりすぎること」(51.9%)、「健康上の問題がないこと」(47.4%)、「地域の保育サービスが整うこと(保育所や一時預かりなど)」(46.2%)、「雇用が安定すること」(41.9%)、「配偶者の家事・育児への協力が得られること」(39.3%)の順となっている。
- 性別にみると、男性では「教育にお金がかかりすぎること」(男性54.6%、女性49.8%)が最も多く、女性では「働きながら子育てができる職場環境であること」(同49.2%、62.0%)が際立って多くなっており、男女で差がみられる。
- 男性が女性より多いのは「雇用が安定すること」(男性46.4%、女性38.4%)であるが、女性が男性を上回っているのは、「地域の保育サービスが整うこと」(同43.2%、48.5%)、「配偶者の家事・育児への協力が得られること」(同26.8%、48.9%)、「出産・育児について相談できる人が地域にいること」(同13.7%、31.6%)、「配偶者以外の家族に、育児に協力してくれる人がいること」(同15.3%、27.8%)であり、多くの項目にわたっている。

図表 2-2-1 今後、子どもを持つ場合の条件<MA> (20歳~49歳有配偶者、全体・性別)



- 性・年代別にみると（図表 2-2-2）、男性では 30 代・40 代ともに「教育にお金がかかりすぎる」（30 代 58.1%、40 代 52.7%）が最も多い。
一方、女性 30 代・40 代では「働きながら子育てができる職場環境であること」（30 代 66.0%、40 代 58.1%）が最も多く、男女で差がみられる。
- 次に、男性 30 代では、「地域の保育サービスが整うこと」（53.2%）が、男性 40 代では「働きながら子育てができる職場環境であること」と「雇用が安定すること」（ともに 46.4%）が多くあげられている。
女性 30 代では次いで「教育にお金がかかりすぎる」と「配偶者の家事・育児への協力が得られること」（ともに 52.0%）、「地域の保育サービスが整うこと」（50.0%）が、女性 40 代では「健康上の問題がないこと」（52.1%）、「教育にお金がかかりすぎる」（48.7%）があげられ、年代による差がみられる。

図表 2-2-2 今後、子どもを持つ場合の条件＜MA＞（20 歳～49 歳有配偶者、性・年代別）

		る働きながら子育てできること	かかからないこと	こ健康上の問題がない	や一時的な予備（保育所）	地域の保育サービスが整うこと	雇用が安定すること	配偶者の家事・育児への協力が得られること	相談できる人がいること	出産・育児に関する情報を知りたいこと	配偶者以外の家族に協力してほしいこと	高齢者または配偶者が自分または配偶者が	と家がある程度広いこと	差し支えがないこと	自分の昇進・昇格に	その他	特になし	わからない
全体	(n=420)	56.4	51.9	47.4	46.2	41.9	39.3	23.8	22.4	14.5	14.3	8.8	1.0	3.1	1.0			
男性小計	(n=183)	49.2	54.6	44.8	43.2	46.4	26.8	13.7	15.3	14.2	12.6	8.7	1.1	3.3	1.1			
男性	20代	(n=11)	63.6	54.5	72.7	81.8	90.9	63.6	27.3	45.5	9.1	36.4	18.2	-	-	-		
	30代	(n=62)	51.6	58.1	43.5	53.2	38.7	33.9	12.9	12.9	16.1	11.3	9.7	-	-	-		
	40代	(n=110)	46.4	52.7	42.7	33.6	46.4	19.1	12.7	13.6	13.6	10.9	7.3	1.8	5.5	1.8		
女性小計	(n=237)	62.0	49.8	49.4	48.5	38.4	48.9	31.6	27.8	14.8	15.6	8.9	0.8	3.0	0.8			
女性	20代	(n=20)	65.0	45.0	50.0	75.0	45.0	55.0	55.0	40.0	15.0	25.0	15.0	-	-	-		
	30代	(n=100)	66.0	52.0	46.0	50.0	38.0	52.0	32.0	29.0	13.0	9.0	7.0	1.0	1.0	-		
	40代	(n=117)	58.1	48.7	52.1	42.7	37.6	45.3	27.4	24.8	16.2	19.7	9.4	0.9	5.1	1.7		

(3) 家庭での育児や家事の役割 (Q8)

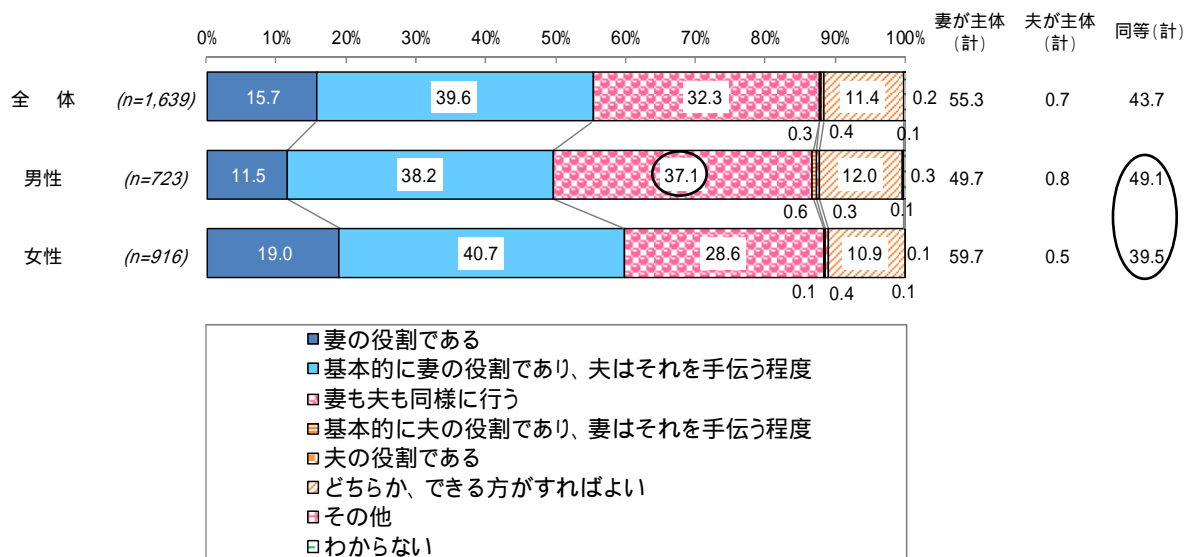
【全員の方に】

Q8 [回答票9] あなたは、家庭での育児や家事は、だれの役割だと思いますか。この中から1つ選んでください。

- (ア) 妻の役割である
- (イ) 基本的に妻の役割であり、夫はそれを手伝う程度
- (ウ) 妻も夫も同様に行う
- (エ) 基本的に夫の役割であり、妻はそれを手伝う程度
- (オ) 夫の役割である
- (カ) どちらか、できる方がすればよい
- その他
- わからない

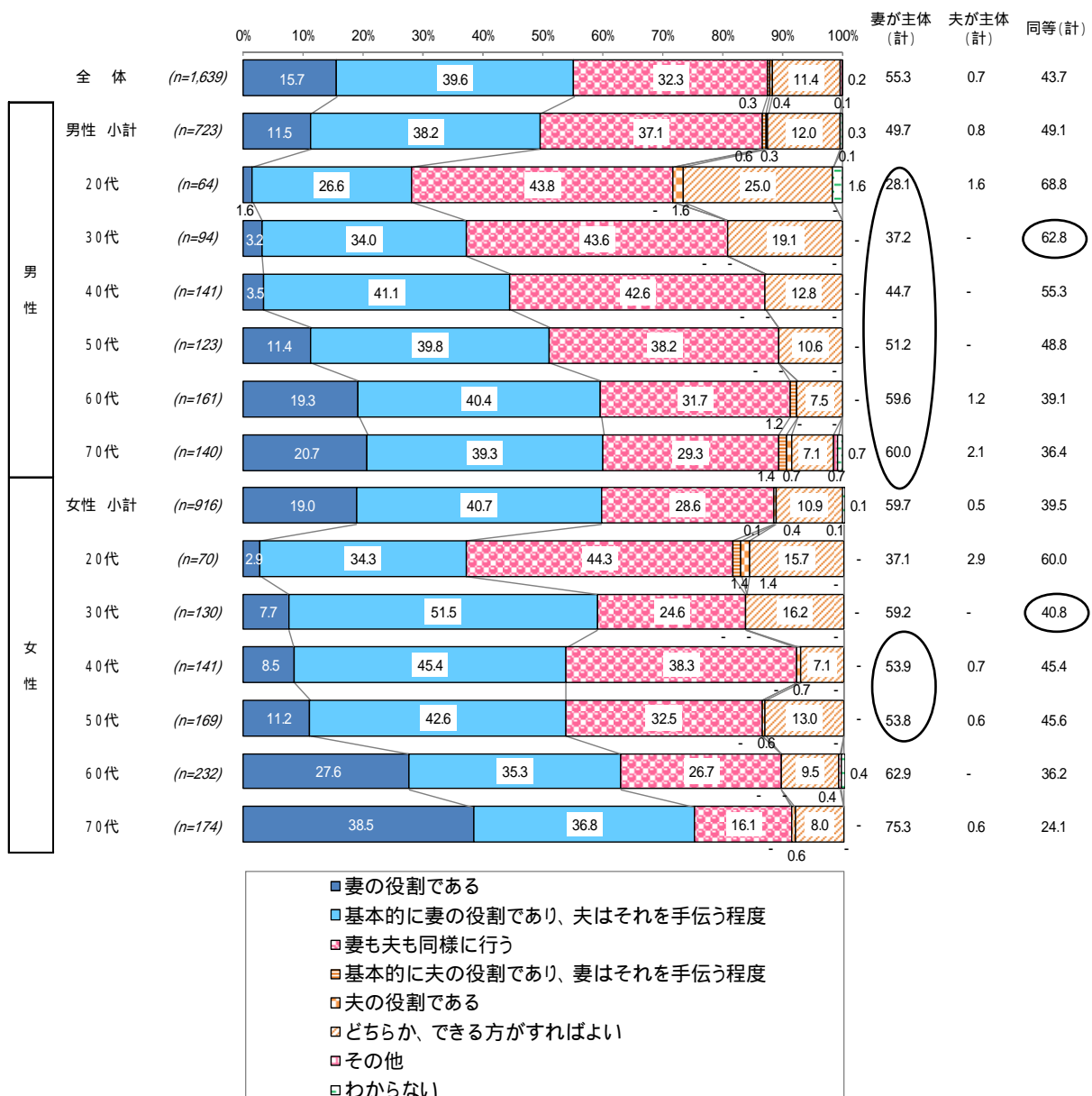
- 家庭での育児や家事を、夫と妻のどちらが行うべきかを聞いたところ（図表 2-3-1）、
「基本的に妻の役割であり、夫はそれを手伝う程度」という回答者が 39.6%で最も多い。
「妻の役割である」（15.7%）という回答者をあわせると、『妻が主体』は 55.3%。
- 一方、「妻も夫も同様に言う」という回答者は 32.3%で、「どちらか、できる方がすればよい」（11.4%）という回答者をあわせると、『同等』は 43.7%。
- 『夫が主体』（「夫の役割である」0.4%+「基本的に夫の役割であり、妻はそれを手伝う程度」0.3%）であると考える回答者は 1%に満たない。
- 性別にみると、男性は『妻が主体』（男性 49.7%、女性 59.7%）が、女性より 10 ポイント低い。また、『同等』（同 49.1%、39.5%）は女性より 10 ポイント高い。女性には『妻が主体』（59.7%）と考える回答者が約 6 割で、『同等』（39.5%）よりも多い。
- 「妻も夫も同様に言う」（男性 37.1%、女性 28.6%）という回答は男性の 4 割弱で、女性を 9 ポイント上回っている。

図表 2-3-1 家庭での育児や家事の役割< S A >（全体・性別）



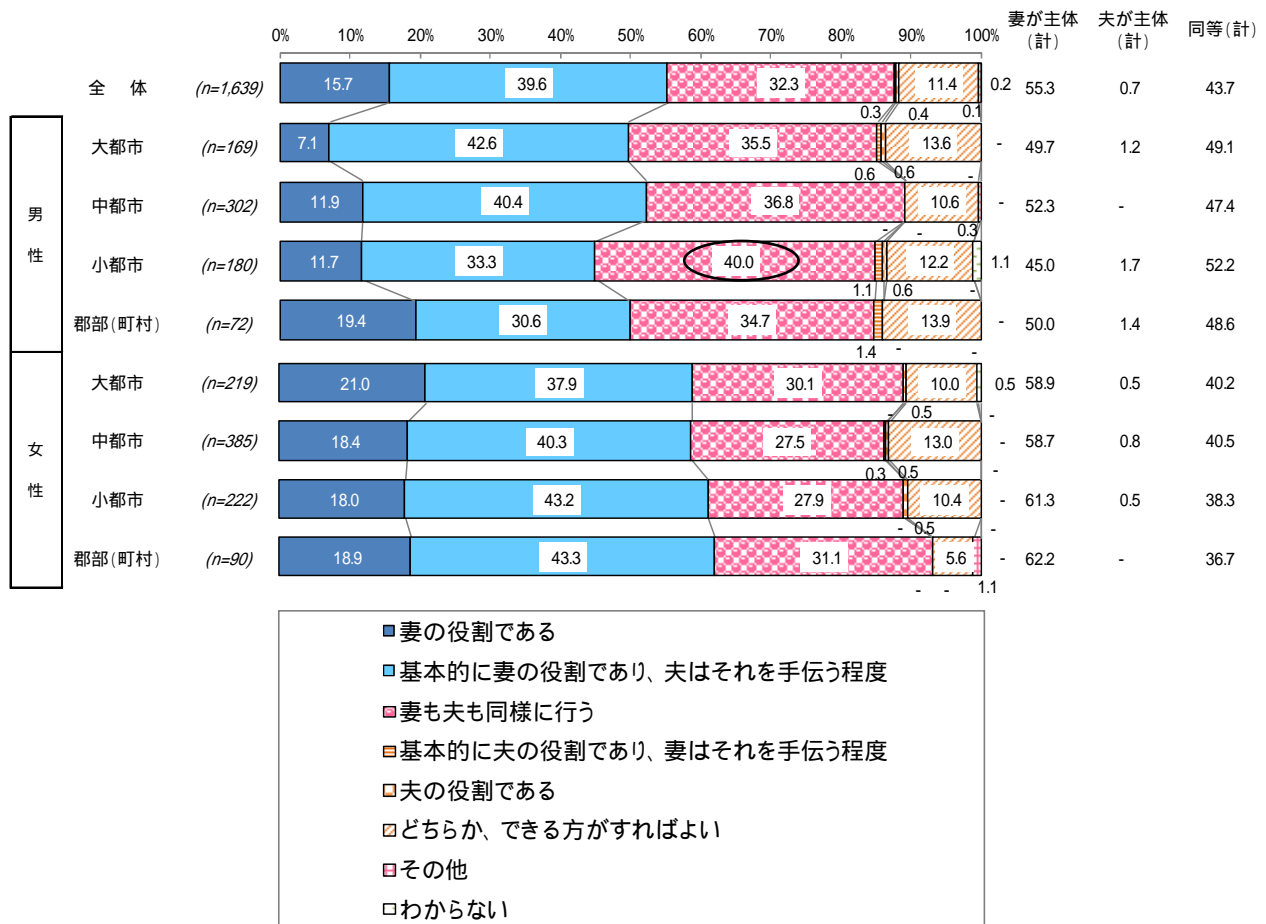
- 性・年代別にみると（図表 2-3-2）、男性では年齢が上がるほど『妻が主体』（「妻の役割である」＋「基本的に妻の役割であり、夫はそれを手伝う程度」という回答者は多くなり、『同等』（「妻も夫も同様に行う」＋「どちらか、できる方がすればよい」という回答が少なくなるという傾向がみられる。
女性では、『妻が主体』という回答は、60代（62.9%）・70代（75.3%）が多いが、30代から50代では5割台で並び、30代では59.2%と、40代（53.9%）・50代（53.8%）より、やや多くなっている。
- いずれの年代でも、『同等』という回答は女性より男性が多い傾向だが、特に30代では、男性（62.8%）と女性（40.8%）の差が大きくなっている。

図表 2-3-2 家庭での育児や家事の役割＜SA＞（性・年代別）



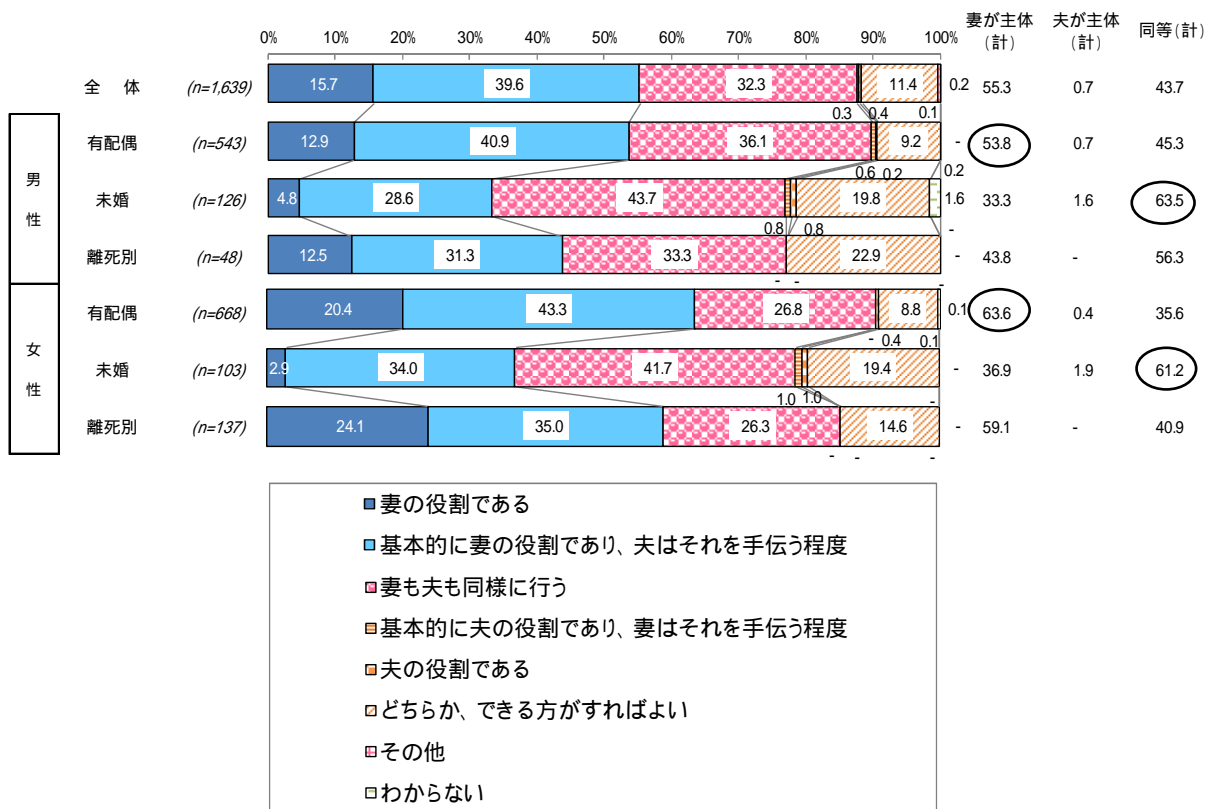
- 性・都市規模別にみると（図表 2-3-3）、男性では小都市在住者の 4 割が「妻も夫も同様に行く」（40.0%）と回答しており、他の都市規模居住者に比べてやや多い。
- 一方、女性では、都市規模にかかわらず 6 割前後が、『妻が主体』（「妻の役割である」）＋「基本的に妻の役割であり、夫はそれを手伝う程度」と回答している。

図表 2-3-3 家庭での育児や家事の役割＜S A＞（性・都市規模別）



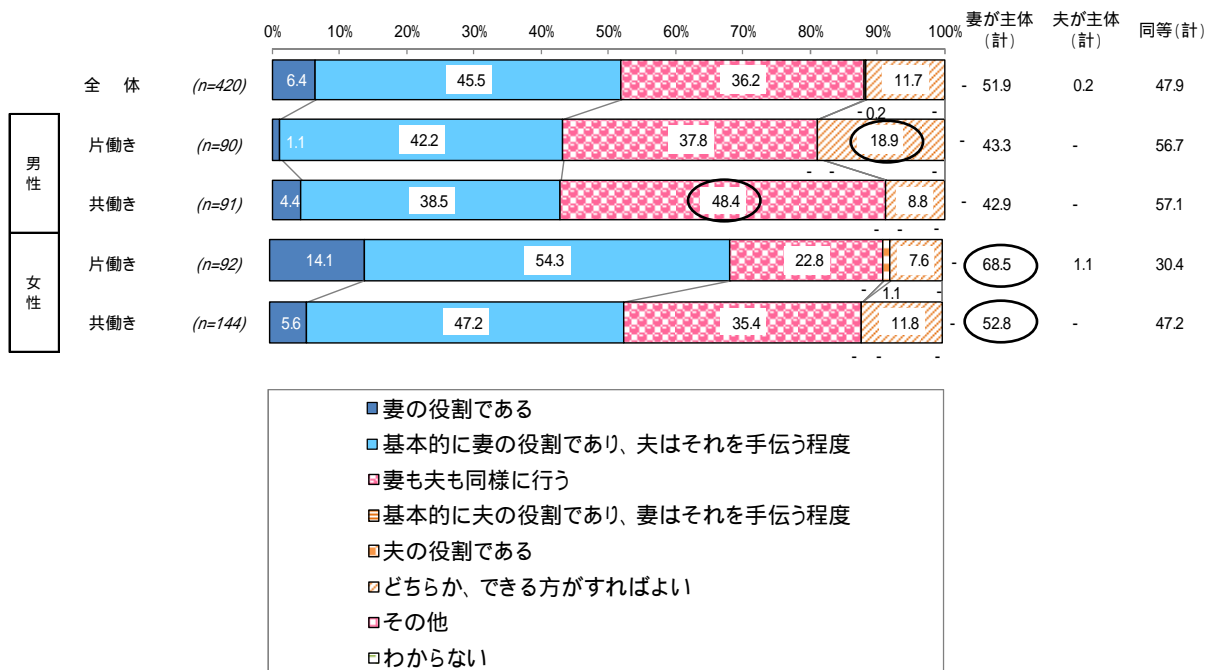
- 性・婚姻状況別にみると（図表 2-3-4）、有配偶者では、『妻が主体』（「妻の役割である」＋「基本的に妻の役割であり、夫はそれを手伝う程度」と考える回答者は、男性では 53.8%、女性では 63.6%であり、女性では 6 割を超えている。
- 一方、男女とも未婚者は、『同等』（「妻も夫も同様に行う」＋「どちらか、できる方がすればよい」）（男性 63.5%、女性 61.2%）という回答者が 6 割を上回っている。

図表 2-3-4 家庭での育児や家事の役割＜S A＞（性・婚姻状況別）



- 20歳～49歳の有配偶者（420人）について、家庭での育児や家事を夫と妻のどちらが行うべきかをみると（図表 2-3-5）、『妻が主体』（「妻の役割である」＋「基本的に妻の役割であり、夫はそれを手伝う程度」）は 51.9%、『夫が主体』（「夫の役割である」＋「基本的に夫の役割であり、妻はそれを手伝う程度」）は 0.2%、『同等』（「妻も夫も同様に行う」＋「どちらか、できる方がすればよい」）が 47.9%であり、『妻が主体』と『同等』という回答がほぼ同程度である。
- 夫婦の就労状況別にみると、男性は片働き世帯か共働き世帯に関わらず、『妻が主体』（片働き 43.3%、共働き 42.9%）が 4 割台前半、『同等』（同 56.7%、57.1%）が 5 割台後半で、『同等』という意見がやや多い。
『同等』の内訳をみると、片働き世帯の男性は「どちらか、できる方がすればよい」（同 18.9%、8.8%）が多く、共働き世帯の男性は「妻も夫も同様に行う」（同 37.8%、48.4%）がやや多い。
- 一方、女性では、いずれも男性よりも『妻が主体』という意見が多いものの、片働き世帯の女性は『妻が主体』が 68.5%と、共働き世帯の女性（52.8%）よりも多く、片働き世帯の女性では「妻の役割である」（14.1%）という回答が 1 割台となっている。
- 逆に『同等』という回答は、共働き世帯の女性（47.2%）の方が、片働き世帯の女性（30.4%）よりも多くなっている。

図表 2-3-5 家庭での育児や家事の役割＜S A＞
（20歳～49歳有配偶者、性・夫婦就労状況別）



(4) 育児や家事で夫も行った方がよいと思うこと (Q9)

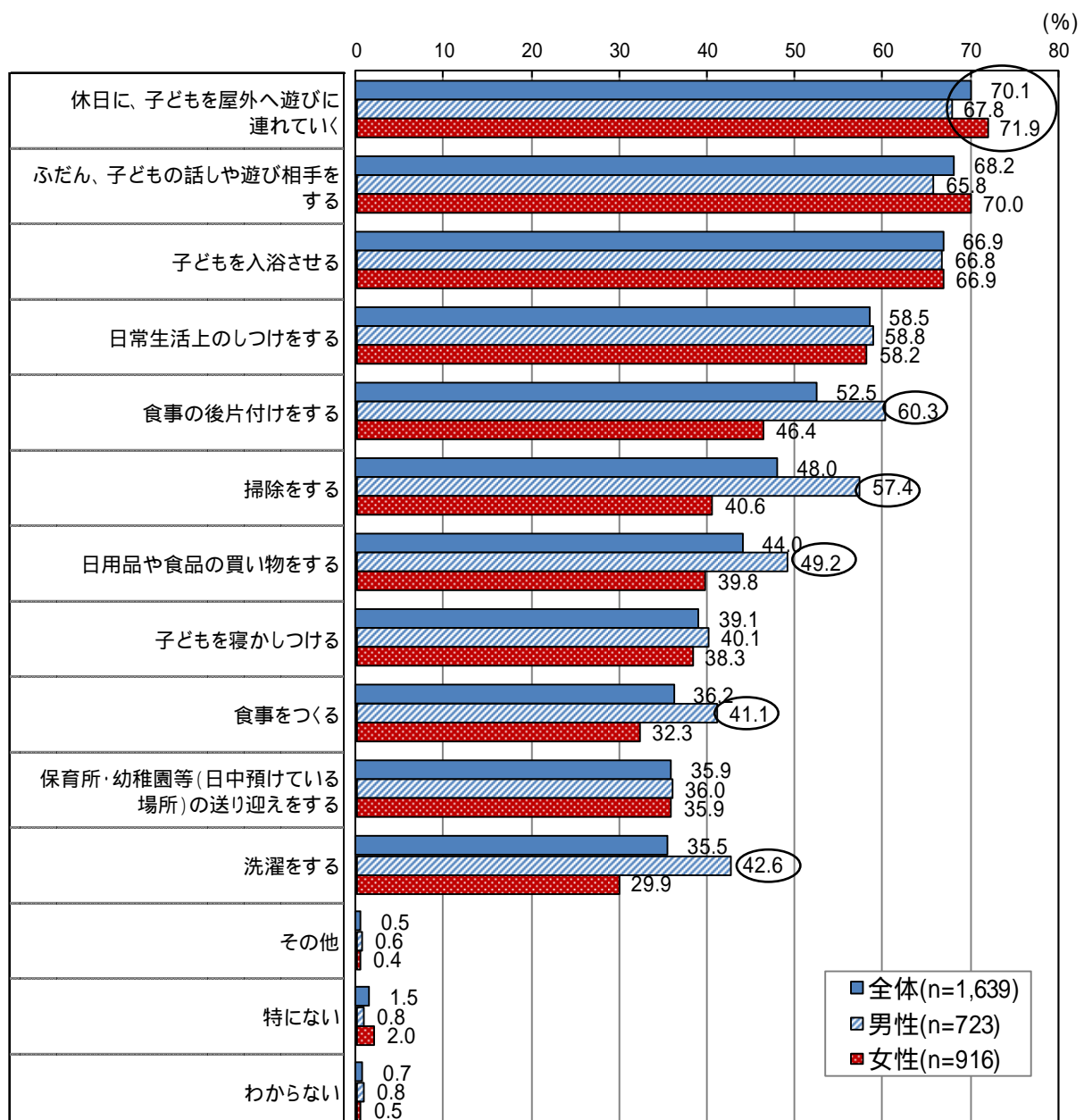
【全員の方に】

Q9 〔回答票10〕子どもが小学校に入学するまでの間、育児や家事の中で、夫も行った方がよいと思うことを、この中からいくつでも選んでください。(M.A.)

- (ア) 食事をつくる
 - (イ) 食事の後片付けをする
 - (ウ) 掃除をする
 - (エ) 洗濯をする
 - (オ) 日用品や食品の買い物をする
 - (カ) 子どもを入浴させる
 - (キ) 子どもを寝かしつける
 - (ク) ふだん、子どもの話しや遊び相手をする
 - (ケ) 休日に、子どもを屋外へ遊びに連れていく
 - (コ) 日常生活上のしつけをする
 - (サ) 保育所・幼稚園等(日中預けている場所)の送り迎えをする
- その他
特にない
わからない

- 子どもが小学校に入学するまでの間、育児や家事の中で、夫も行った方がよいと思うこととしては(図表 2-4-1)、「休日に、子どもを屋外へ遊びに連れていく」(70.1%)、「ふだん、子どもの話しや遊び相手をする」(68.2%)、「子どもを入浴させる」(66.9%)が7割前後で、上位にあげられている。
- 性別にみると、夫も行った方がよいと思うことの項目順位に大きな男女差はみられないが、男性の回答率が女性を大きく上回っているのは「食事の後片付けをする」(男性 60.3%、女性 46.4%)、「掃除をする」(同 57.4%、40.6%)、「日用品や食品の買い物をする」(同 49.2%、39.8%)、「食事をつくる」(同 41.1%、32.3%)、「洗濯をする」(同 42.6%、29.9%)である。

図表 2-4-1 育児や家事で夫も行った方がよいと思うこと<MA> (全体・性別)



- 性・年代別にみると（図表 2-4-2）、いずれの項目についても、男女とも年齢が若いほど多くあげられる傾向がある。

図表 2-4-2 育児や家事で夫も行った方がよいと思うこと＜MA＞（性・年代別）

		休日に、子どもを屋外へ遊びに連れていく	ふだん、子どもや遊び相手をする	子どもを入浴させる	日常生活上のしつけをする	食事の後片付けをする	掃除をする	日用品や食品の買い物を	子どもを寝かしつける	食事をつくる	保育所・幼稚園等（日中預けている場所）の送り迎えをする	洗濯をする	その他	特にな	わからない
全体	(n=1,639)	70.1	68.2	66.9	58.5	52.5	48.0	44.0	39.1	36.2	35.9	35.5	0.5	1.5	0.7
男性	(n=723)	67.8	65.8	66.8	58.8	60.3	57.4	49.2	40.1	41.1	36.0	42.6	0.6	0.8	0.8
20代	(n=64)	79.7	73.4	81.3	76.6	76.6	68.8	70.3	59.4	51.6	53.1	59.4	1.6	-	-
30代	(n=94)	76.6	72.3	79.8	68.1	71.3	66.0	55.3	53.2	52.1	48.9	50.0	1.1	-	-
40代	(n=141)	75.2	69.5	73.0	64.5	68.8	61.7	58.2	51.8	44.0	36.2	53.2	-	1.4	-
50代	(n=123)	72.4	70.7	75.6	61.8	62.6	58.5	52.8	45.5	48.0	38.2	45.5	-	-	-
60代	(n=161)	62.1	62.1	62.7	48.4	54.0	60.9	41.0	28.0	35.4	29.8	33.5	-	1.2	0.6
70代	(n=140)	51.4	54.3	42.1	47.9	42.1	37.1	32.9	20.0	26.4	24.3	27.1	1.4	1.4	3.6
女性	(n=916)	71.9	70.0	66.9	58.2	46.4	40.6	39.8	38.3	32.3	35.9	29.9	0.4	2.0	0.5
20代	(n=70)	80.0	85.7	78.6	62.9	62.9	48.6	50.0	61.4	41.4	45.7	42.9	-	-	-
30代	(n=130)	85.4	71.5	76.9	57.7	51.5	41.5	43.1	52.3	36.2	32.3	34.6	0.8	-	0.8
40代	(n=141)	77.3	78.0	70.9	61.0	56.0	57.4	51.1	44.0	38.3	40.4	41.1	-	0.7	-
50代	(n=169)	75.1	72.8	73.4	71.6	53.3	41.4	44.4	44.4	40.2	41.4	33.1	-	1.2	0.6
60代	(n=232)	64.2	64.7	63.4	50.0	37.5	39.2	29.3	27.6	25.0	35.3	25.4	0.4	1.7	-
70代	(n=174)	61.5	60.3	50.0	52.3	33.3	24.1	33.9	22.4	23.0	26.4	14.9	1.1	6.3	1.7

- 性・婚姻状況別にみると（図表 2-4-3）、男性の有配偶者が女性の有配偶者より多いのは、「食事の後片付けをする」（男性 59.3%、女性 44.6%）、「掃除をする」（同 56.7%、40.4%）、「日用品や食品の買い物をする」（同 48.1%、39.1%）、「食事をつくる」（同 39.2%、30.5%）、「洗濯をする」（同 40.7%、28.1%）。
- 一方、男性の未婚者が男性の有配偶者より多くあげているのは、「日常生活上のしつけをする」（未婚 67.5%、有配偶 58.4%）、「日用品や食品の買い物をする」（同 57.1%、48.1%）、「食事をつくる」（同 51.6%、39.2%）、「保育所・幼稚園等（日中預けている場所）の送り迎えをする」（同 46.0%、34.4%）、「洗濯をする」（同 50.0%、40.7%）。
- また、女性でも、未婚の方が、有配偶者よりも多くの項目で回答率が高い傾向である。
- 男女とも、未婚の方が、有配偶者よりも夫の育児・家事参加の意識は高い。

図表 2-4-3 育児や家事で夫も行った方がよいと思うこと<MA>（性・婚姻状況別）

		へ休日 に遊びに 連れてい く屋外	やふた ん、子 遊び び相 手す る	子 ども を入 浴さ せる	日 常生 活上 のし つけ を す る	食 事 の 後 片 付 け を す る	掃 除 を す る	日 用 品 や 食 品 の 買 い 物 を す る	子 ども を 寝 か し つ け る	食 事 を つ く る	中 預 け て い る 場 所 （ 日 中 預 け て い る 場 所 ） の 日	洗 濯 を す る	そ の 他	特 に な い	わ か ら な い	
全 体	(n=1,639)	70.1	68.2	66.9	58.5	52.5	48.0	44.0	39.1	36.2	35.9	35.5	0.5	1.5	0.7	
男 性	有配偶	(n=543)	69.2	67.8	69.2	58.4	59.3	56.7	48.1	40.5	39.2	34.4	40.7	0.6	0.6	0.6
	未婚	(n=126)	65.9	62.7	65.9	67.5	67.5	61.9	57.1	44.4	51.6	46.0	50.0	0.8	0.8	0.8
	離死別	(n=48)	58.3	54.2	43.8	43.8	52.1	52.1	41.7	27.1	35.4	29.2	43.8	-	4.2	4.2
女 性	有配偶	(n=668)	72.8	69.6	67.4	58.1	44.6	40.4	39.1	37.1	30.5	33.5	28.1	0.4	1.3	0.1
	未婚	(n=103)	75.7	80.6	75.7	67.0	66.0	54.4	55.3	50.5	40.8	47.6	44.7	1.0	1.0	-
	離死別	(n=137)	65.7	63.5	58.4	51.8	40.1	31.4	32.1	35.0	33.6	38.7	27.0	-	5.1	2.9

- 20歳～49歳の有配偶者（420人）について、育児や家事で夫も行った方がよいと思うことをみると（図表2-4-4）、上位3項目は、1位「休日に、子どもを屋外へ遊びに連れていく」（80.7%）、2位「子どもを入浴させる」（76.4%）、3位「ふだん、子どもの話しや遊び相手をする」（75.0%）。
- 夫婦の就労状況別にみると、男性では、多くの項目について、共働き世帯の方が片働き世帯よりも「夫も行った方がよい」という回答が多い傾向にある。共働き世帯の方が多いのは、「掃除をする」（共働き69.2%、片働き57.8%）、「洗濯をする」（同61.5%、47.8%）、「食事をつくる」（同51.6%、40.0%）、「保育所・幼稚園等の送り迎えをする」（同51.6%、32.2%）。
- 一方、女性では、「夫も行った方がよい」という回答は、多くの項目について、男性よりも少ない傾向にある。女性の共働き世帯が片働き世帯よりも多いのは、「掃除をする」（共働き54.2%、片働き41.3%）、「洗濯をする」（同43.1%、32.6%）、「保育所・幼稚園等の送り迎えをする」（同41.0%、28.3%）。

図表2-4-4 育児や家事で夫も行った方がよいと思うこと＜MA＞
（20歳～49歳有配偶者、性・夫婦就労状況別）

		へ休日 に遊 びに 連 れ て い く	子 ど も を 入 浴 さ せ る	ふ だ ん 、 子 ど も の 話 し や 遊 び 相 手 を す る	日 常 生 活 上 の し つ け を す る	食 事 の 後 片 付 け を す る	掃 除 を す る	子 ど も を 寝 か し つ け る	日 用 品 や 食 品 の 買 い 物 を す る	洗 濯 を す る	食 事 を つ く る	送 り 迎 え を す る （ 保 育 所 ・ 幼 稚 園 等 ） の 日	そ の 他	特 に な い	わ か ら な い
全	体 (n=420)	80.7	76.4	75.0	62.4	61.0	55.2	53.3	52.1	45.7	41.7	38.6	0.2	0.5	0.2
男 性	片働 き (n=90)	75.6	80.0	77.8	74.4	73.3	57.8	53.3	54.4	47.8	40.0	32.2	-	1.1	-
	共働 き (n=91)	83.5	82.4	72.5	64.8	70.3	69.2	62.6	63.7	61.5	51.6	51.6	1.1	-	-
女 性	片働 き (n=92)	87.0	76.1	79.3	64.1	50.0	41.3	53.3	44.6	32.6	38.0	28.3	-	-	-
	共働 き (n=144)	77.8	70.8	71.5	52.8	54.9	54.2	47.9	47.9	43.1	38.9	41.0	-	0.7	0.7

(5) 祖父母の育児や家事の手助け (Q10)

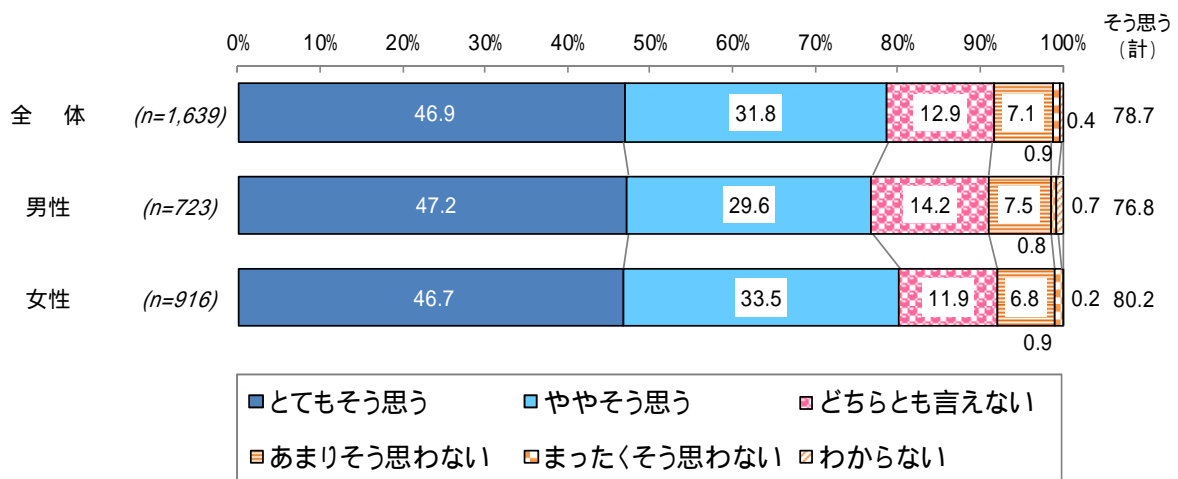
【全員の方に】

Q10 「回答票 11」では、子どもが小学校に入学するまでの間、子どもからみた祖父母が、育児や家事の手助けをすることは望ましいと思いますか。この中から1つ選んでください。

- (ア) とてもそう思う (エ) あまりそう思わない
 (イ) ややそう思う (オ) まったくそう思わない
 (ウ) どちらとも言えない わからない

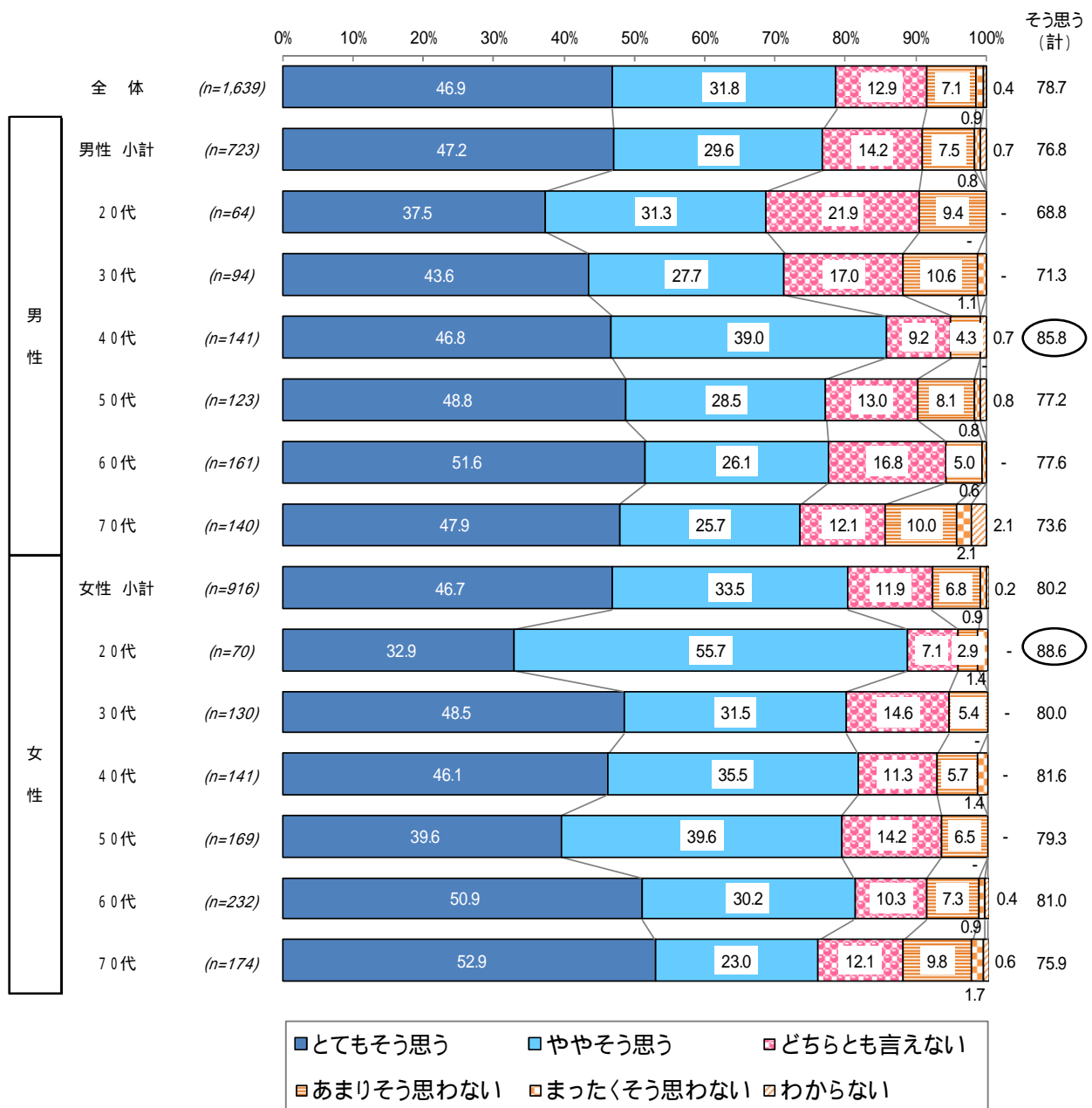
- 子どもが小学校に入学するまでの間、子どもからみた祖父母が、育児や家事の手助けをすることが望ましいかどうかについては(図表 2-5-1)、「とてもそう思う」という回答者が46.9%で、「ややそう思う」(31.8%)という回答者をあわせると『そう思う』が78.7%。8割近くが祖父母の手助けを望ましいとしている。
- 性別にみても、大きな男女差はなく、8割前後が祖父母の手助けを望ましいと回答している。

図表 2-5-1 祖父母の育児や家事の手助け<SA> (全体・性別)



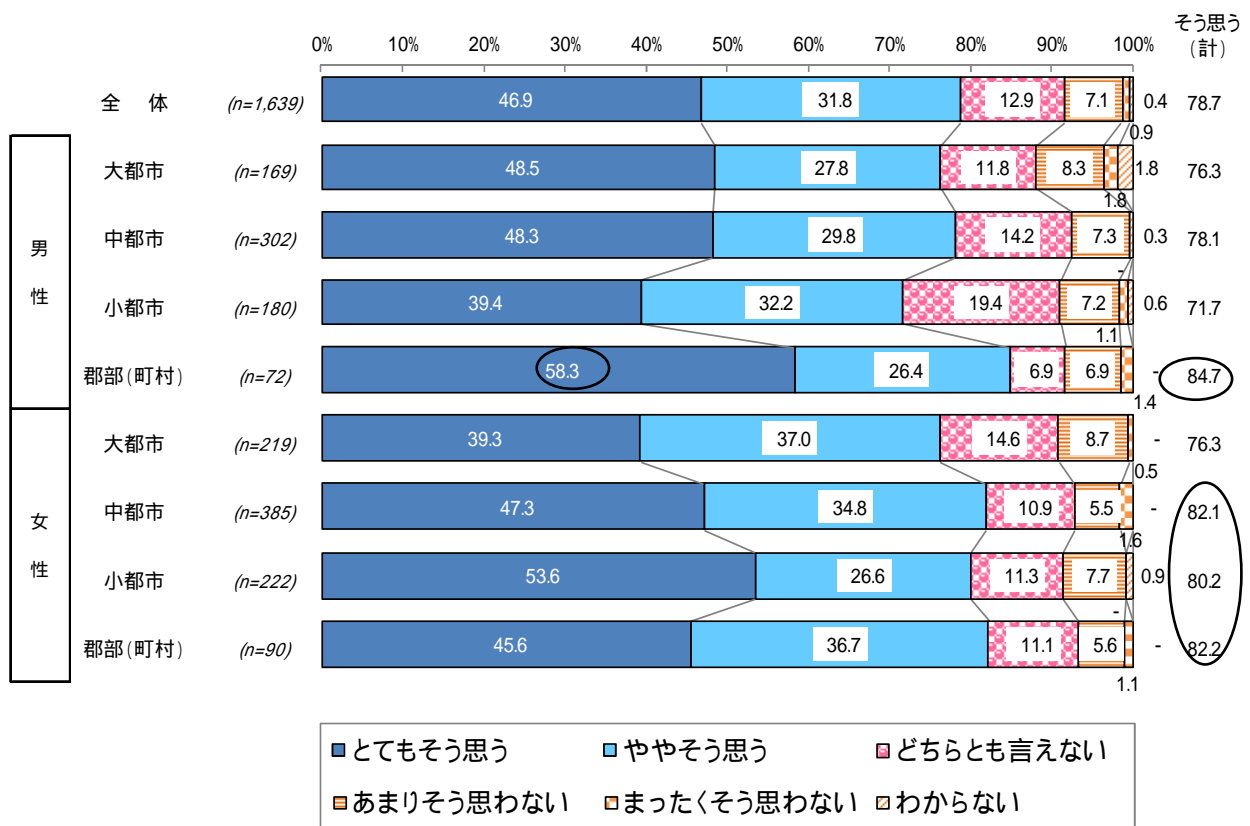
- 性・年代別にみると（図表 2-5-2）、いずれの性・年代層でも「とてもそう思う」もしくは「ややそう思う」と回答した、子どもの就学前に育児や家事において祖父母の手助けを望ましいと考える回答者が多数を占めている。
- 特に男性の40代（85.8%）と女性の20代（88.6%）で、『そう思う』（「とてもそう思う」+「ややそう思う」）がやや多くなっている。

図表 2-5-2 祖父母の育児や家事の手助け＜S A＞（性・年代別）



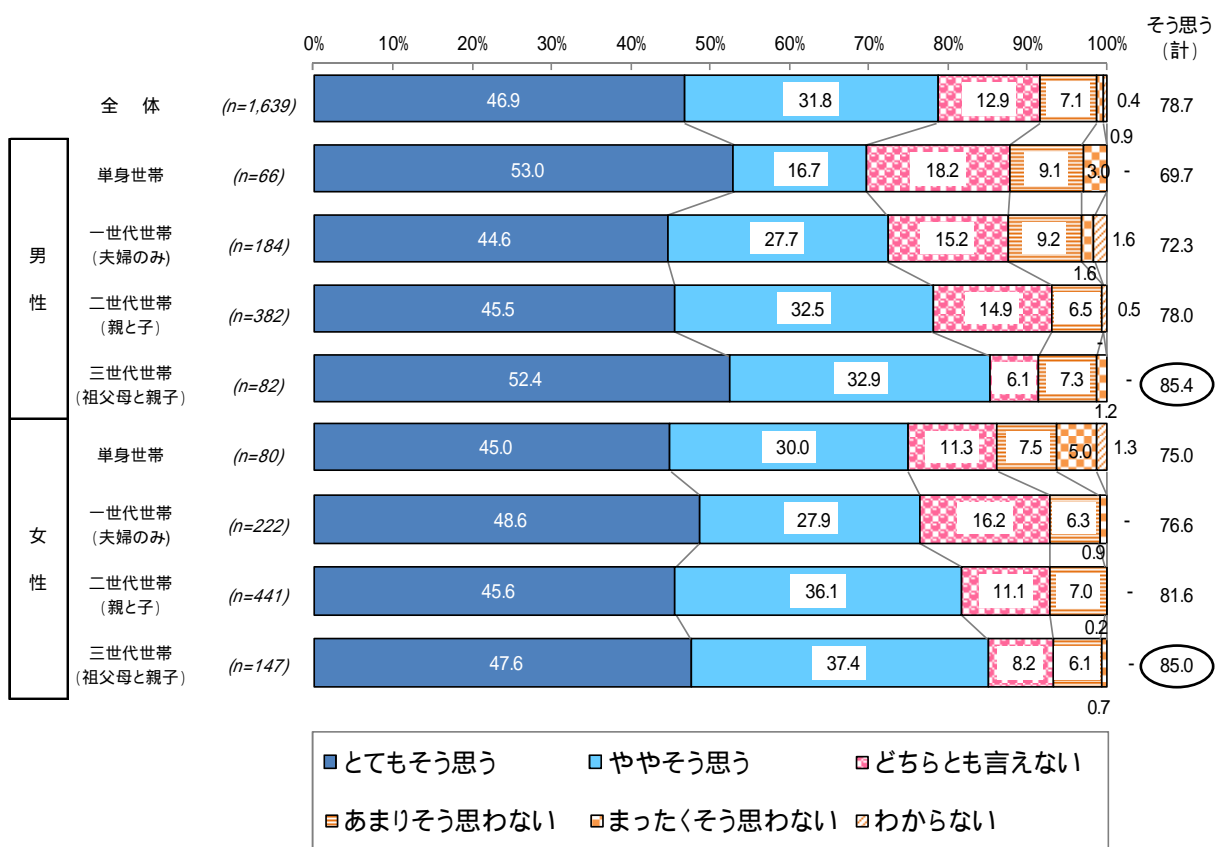
- 性・都市規模別にみると（図表 2-5-3）、いずれの層でも、子どもの就学前に、育児や家事において祖父母の手助けを望ましいと考える層が多数を占めているが、『そう思う』（「とてもそう思う」＋「ややそう思う」）という回答は、女性の中都市在住者（82.1%）、女性の小都市在住者（80.2%）、男女とも郡部（町村）在住者（男性 84.7%、女性 82.2%）でやや多くなっており、いずれも 8 割台となっている。
- 特に男性の郡部在住者では、「とてもそう思う」（58.3%）という回答が 5 割台後半とやや多くなっている。

図表 2-5-3 祖父母の育児や家事の手助け＜S A＞（性・都市規模別）



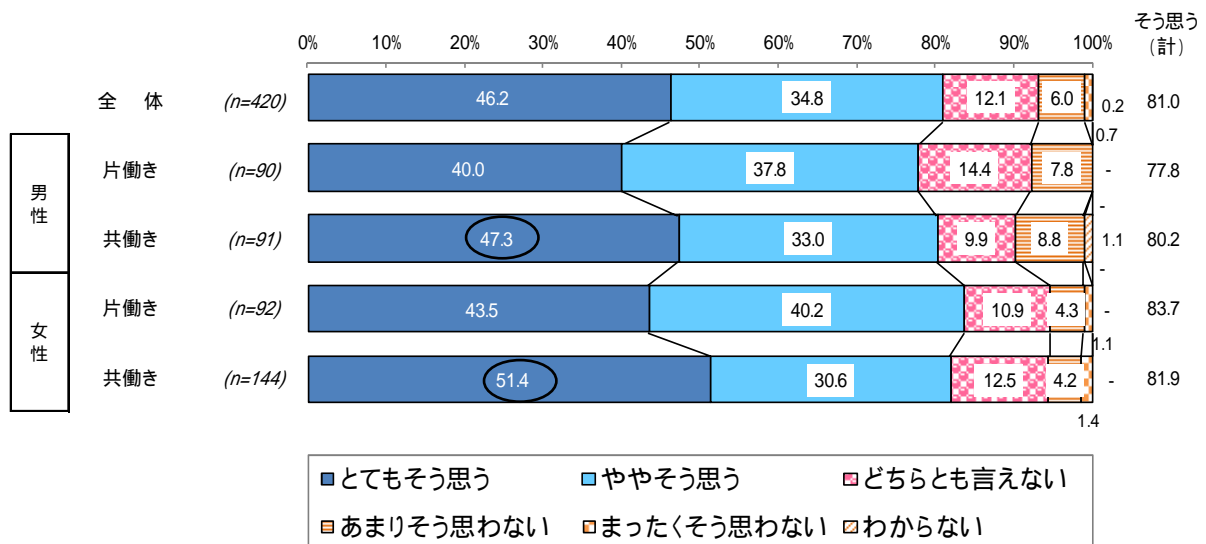
- 性・世帯構成別にみると（図表 2-5-4）、いずれの層でも、子どもの就学前に、育児や家事において祖父母の手助けを望ましいと考える層が多数を占めているが、男女とも、二世帯世帯・三世帯世帯の方が、祖父母の手助けを望ましいと考える傾向にある。
- 特に、男女とも三世帯世帯同居者では、『そう思う』（「とてもそう思う」＋「ややそう思う」）という回答者が 8 割台半ば（男性 85.4%、女性 85.0%）となっている。

図表 2-5-4 祖父母の育児や家事の手助け＜S A＞（性・世帯構成別）



- 20歳～49歳の有配偶者（420人）について、祖父母の育児や家事の手助けを望ましいかどうかをみると（図表2-5-5）、「とてもそう思う」という回答者が46.2%で、「ややそう思う」（34.8%）という回答者をあわせると、8割強が祖父母の手助けを望ましいとしており、回答者全体と大きな差はみられない。
- 夫婦の就労状況別にみると、『そう思う』（「とてもそう思う」＋「ややそう思う」）という回答に大きな差はないが、「とてもそう思う」という回答は、男女とも共働き世帯（男性47.3%、女性51.4%）の方が片働き世帯（同40.0%、43.5%）より多い。

図表 2-5-5 祖父母の育児や家事の手助け＜S A＞
（20歳～49歳有配偶者、性・夫婦就労状況別）



(6) 祖父母に期待する手助け (Q11)

Q11 〔回答票 12〕 一般的に、子どもが小学校に入学するまでの間、子どもからみた祖父母は、育児や家事の中で、どんな手助けをしたらよいと思いますか。それぞれ、あてはまるものをいくつでもあげてください。(M. A.)

まず、a) 祖母についてはいかがでしょうか。

…では、b) 祖父についてはいかがですか。

(ア) 食事の用意

(イ) 掃除・洗濯

(ウ) 日用品や食品の買い物をする

(エ) 子どもを入浴させる

(オ) 子どもを寝かしつける

(カ) 子どもの話しや遊び相手をする

(キ) 日常生活上のしつけをする

(ク) 保育所・幼稚園等(日中預けている場所)の送り迎えをする

(ケ) 子どもが病気の時、病院に連れて行ったり看病したりする

(コ) 教育費の支援をする

(サ) 教育費以外の経済的支援をする(おもちゃ、洋服、外食、旅行などのレジャー等)

(シ) 子どもに自分の経験や知恵を伝える

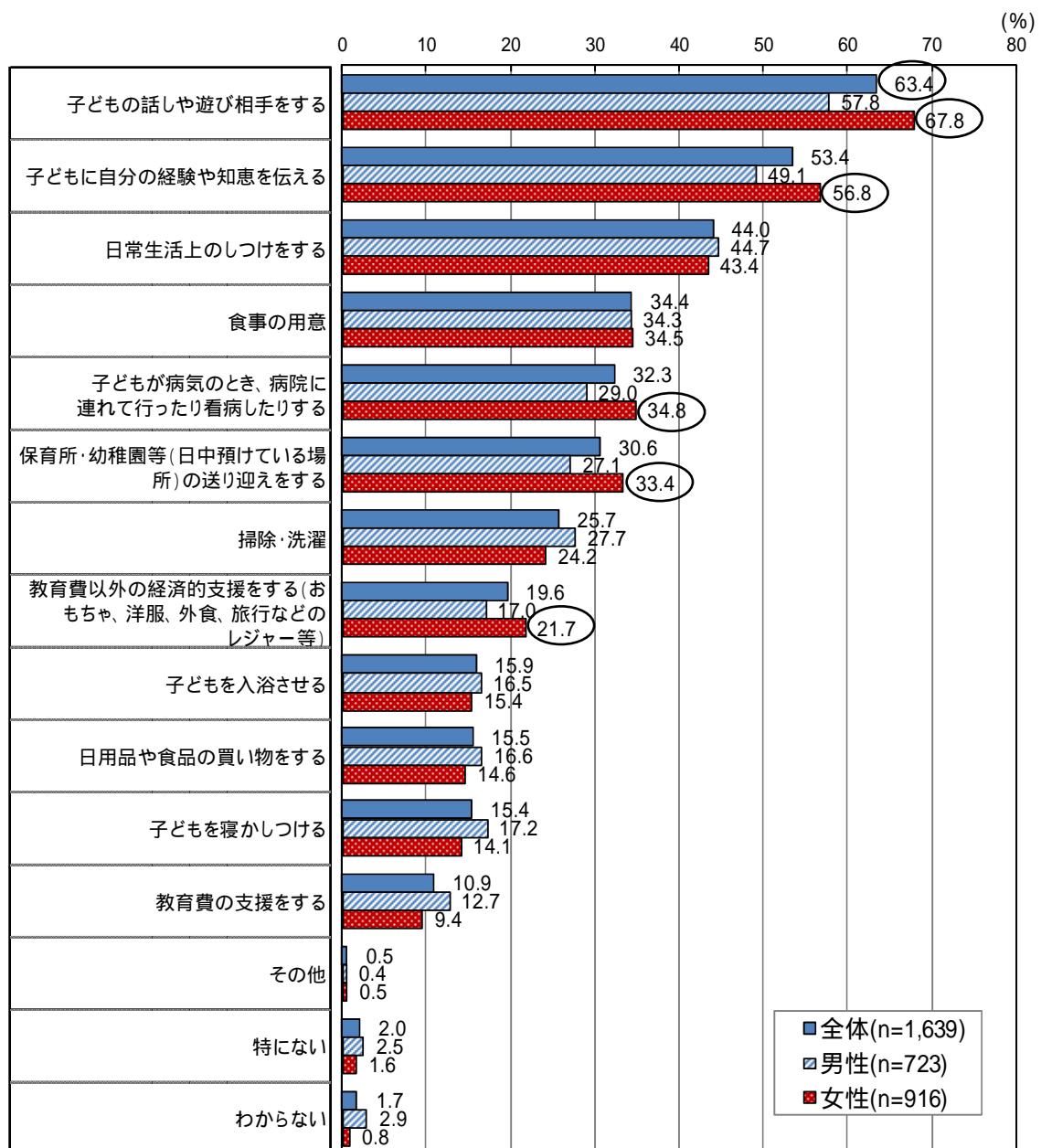
その他 ()

特にない

わからない

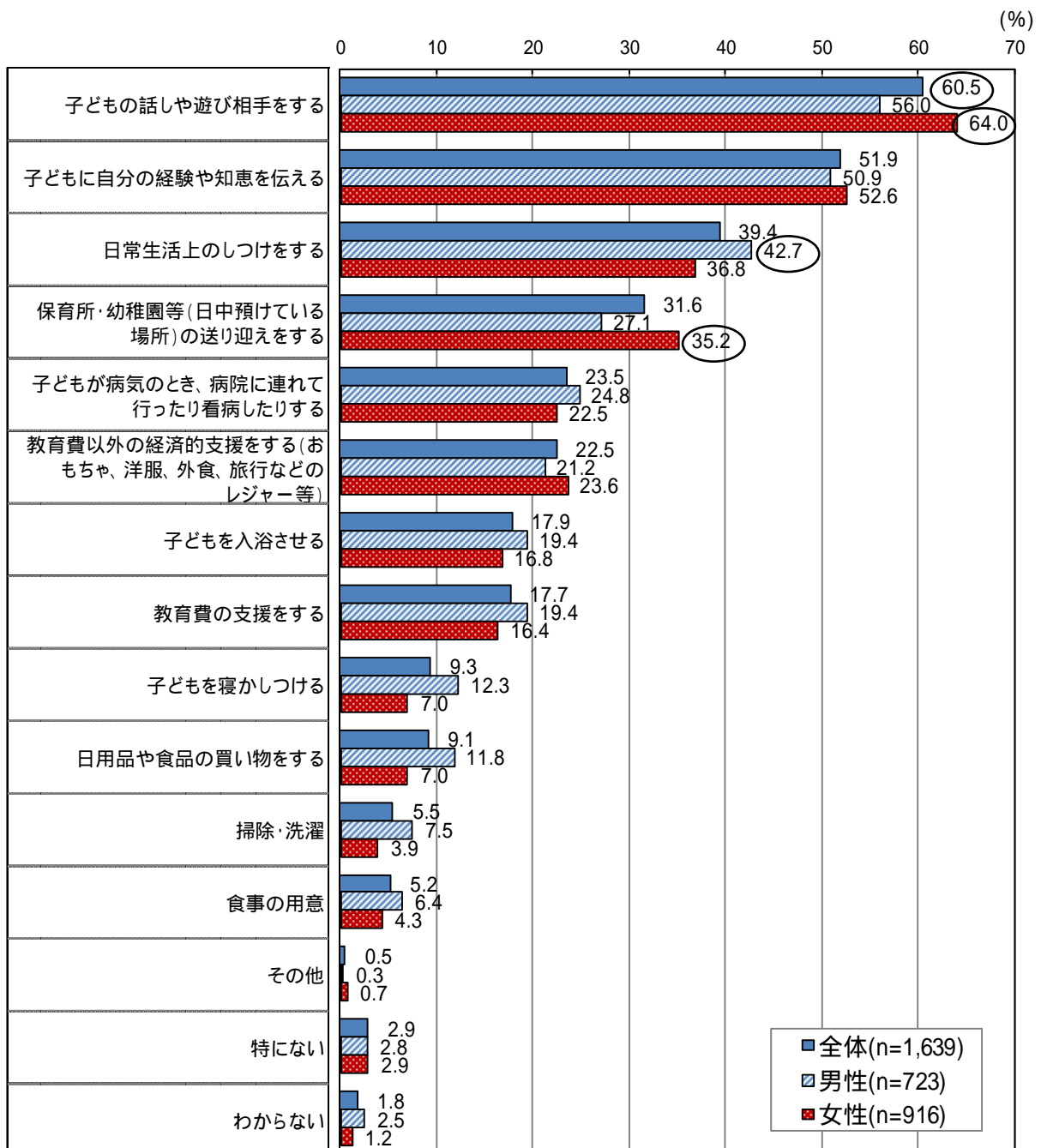
- 祖母に期待する手助けの内容をみると（図表 2-6-1）、「子どもの話しや遊び相手をする」（63.4%）が最も多く、次いで「子どもに自分の経験や知恵を伝える」（53.4%）、「日常生活上のしつけをする」（44.0%）の順である。
- 性別にみると、女性が男性より多くあげているのは、「子どもの話しや遊び相手をする」（男性 57.8%、女性 67.8%）、「子どもに自分の経験や知恵を伝える」（同 49.1%、56.8%）、「子どもが病気のとて、病院に連れて行ったり看病したりする」（同 29.0%、34.8%）、「保育所・幼稚園等（日中預けている場所）の送り迎えをする」（同 27.1%、33.4%）、「教育費以外の経済的支援をする（おもちゃ、洋服、外食、旅行などのレジャー等）」（同 17.0%、21.7%）。

図表 2-6-1 祖母に期待する手助け＜MA＞（全体・性別）



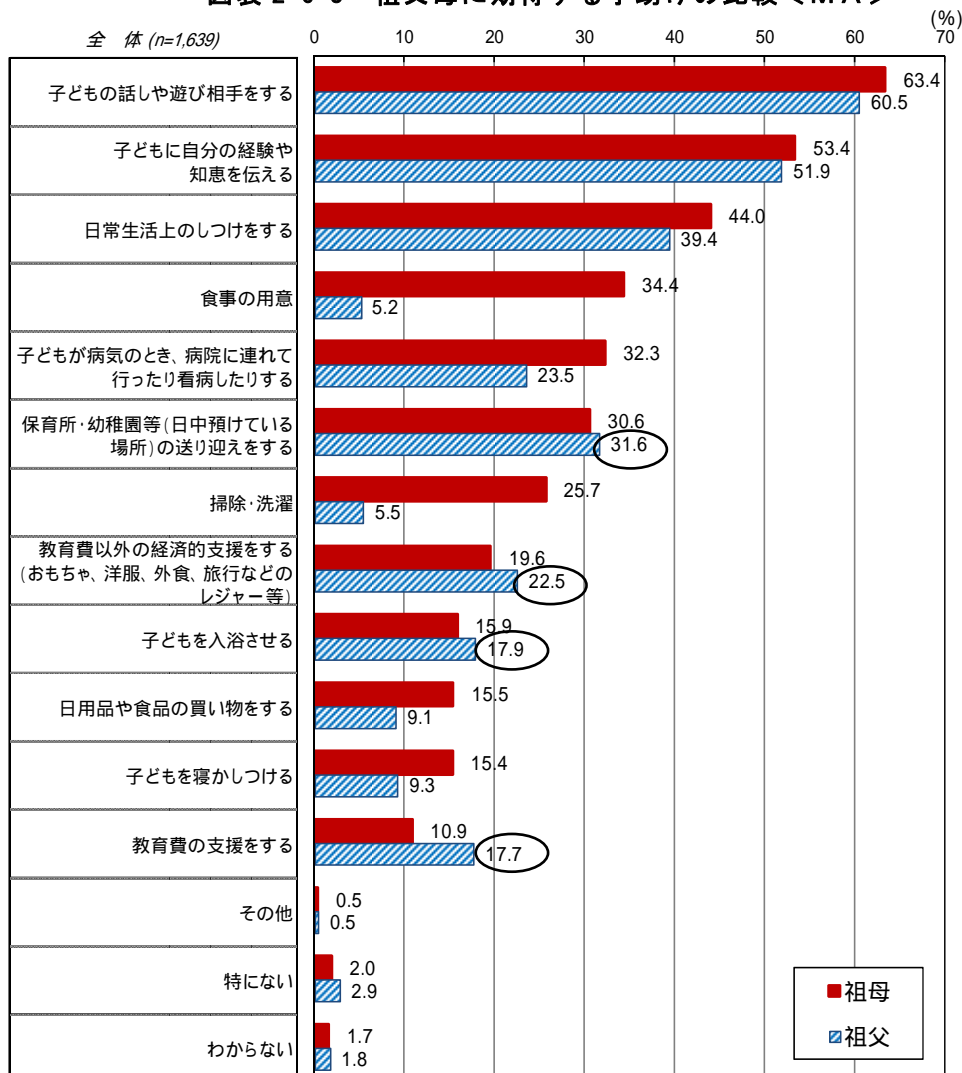
- 祖父に期待する手助けの内容をみると（図表 2-6-2）、「子どもの話しや遊び相手をする」（60.5%）が最も多く、次いで「子どもに自分の経験や知恵を伝える」（51.9%）、「日常生活上のしつけをする」（39.4%）の順である。
- 性別にみると、女性が男性より多くあげているのは、「子どもの話しや遊び相手をする」（男性 56.0%、女性 64.0%）、「保育所・幼稚園等の送り迎えをする」（同 27.1%、35.2%）。
- 上位項目のうち、「日常生活上のしつけをする」（男性 42.7%、女性 36.8%）は男性の方が多く期待している。

図表 2-6-2 祖父に期待する手助け＜MA＞（全体・性別）



- 祖母と祖父に期待する手助けを比較すると（図表 2-6-3）、祖父母ともに上位 3 項目は同じで、「子どもの話しや遊び相手をする」（祖母 63.4%、祖父 60.5%）、「子どもに自分の経験や知恵を伝える」（同 53.4%、51.9%）、「日常生活上のしつけをする」（同 44.0%、39.4%）の順。
- 4 位以降は、祖母は「食事の用意」（34.4%）、「子どもが病気のと看、病院に連れて行ったり看病したりする」（32.3%）、「保育所・幼稚園等の送り迎えをする」（30.6%）が 3 割台で続く。
- 一方、祖父では「保育所・幼稚園等の送り迎えをする」（31.6%）が多く、以下は、「子どもが病気のと看、病院に連れて行ったり看病したりする」（23.5%）、「教育費以外の経済的支援をする（おもちゃ、洋服、外食、旅行などのレジャー等）」（22.5%）が 2 割台である。
- 多くの項目で、祖父よりも祖母への期待が大きくなっているが、「保育所・幼稚園等の送り迎えをする」、「教育費以外の経済的支援をする」、「子どもを入浴させる」、「教育費の支援をする」などについては、祖父への期待も同程度もしくは祖母を上回っている。

図表 2-6-3 祖父母に期待する手助けの比較<MA>



- 祖母に期待する手助けの内容を性・年代別にみると（図表 2-6-4）、「子どもの話しや遊び相手をする」は女性 20 代から 50 代で他の年代よりもやや高くなっている。
- 「子どもに自分の経験や知恵を伝える」は男性 20 代と女性 30 代から 50 代で、他の年代よりもやや高くなっている。

図表 2-6-4 祖母に期待する手助け＜MA＞（性・年代別）

		子どもの話しや遊び相手をする	子どもに自分の経験や知恵を伝える	日常生活上のしつつけをする	食事の用意	看病したりする	子どもが病気のとき、病院に連れて行ったり	送り迎えをする	中預けている場所（幼稚園等）の掃除・洗濯	掃除・洗濯	教育費以外の経済的支援をする（おもちゃ、洋服、旅行などのレジャー等）	子どもを入浴させる	日用品や食品の買い物を	子どもを寝かしつける	教育費の支援をする	その他	特にな	わからない
全体	(n=1,639)	63.4	53.4	44.0	34.4	32.3	30.6	25.7	19.6	15.9	15.5	15.4	10.9	0.5	2.0	1.7		
男性小計	(n=723)	57.8	49.1	44.7	34.3	29.0	27.1	27.7	17.0	16.5	16.6	17.2	12.7	0.4	2.5	2.9		
20代	(n=64)	65.6	67.2	42.2	29.7	28.1	20.3	15.6	23.4	12.5	6.3	28.1	7.8	-	-	1.6		
30代	(n=94)	58.5	57.4	46.8	31.9	36.2	29.8	24.5	22.3	14.9	12.8	20.2	14.9	-	4.3	1.1		
40代	(n=141)	61.0	53.2	45.4	31.2	26.2	23.4	22.7	10.6	9.9	13.5	13.5	6.4	1.4	-	3.5		
50代	(n=123)	59.3	50.4	44.7	37.4	27.6	30.1	30.9	13.0	19.5	15.4	14.6	15.4	-	1.6	4.9		
60代	(n=161)	58.4	44.7	47.2	37.3	24.8	25.5	34.8	19.9	18.6	22.4	17.4	14.9	0.6	1.9	2.5		
70代	(n=140)	48.6	35.0	40.7	35.0	33.6	31.4	29.3	17.1	20.7	21.4	15.7	15.0	-	6.4	2.9		
女性小計	(n=916)	67.8	56.8	43.4	34.5	34.8	33.4	24.2	21.7	15.4	14.6	14.1	9.4	0.5	1.6	0.8		
20代	(n=70)	77.1	57.1	50.0	35.7	34.3	30.0	12.9	18.6	7.1	8.6	14.3	5.7	-	-	1.4		
30代	(n=130)	73.8	68.5	39.2	26.2	38.5	32.3	14.6	31.5	11.5	15.4	11.5	6.9	1.5	1.5	0.8		
40代	(n=141)	67.4	68.1	43.3	37.6	39.7	31.9	19.9	26.2	11.3	12.1	14.9	8.5	0.7	-	-		
50代	(n=169)	74.6	63.3	46.2	37.9	35.5	33.7	20.7	20.7	18.9	16.0	14.8	12.4	-	0.6	-		
60代	(n=232)	59.1	47.0	42.7	34.9	31.9	39.2	31.0	17.7	15.5	14.2	11.6	9.5	0.9	2.6	0.4		
70代	(n=174)	64.9	45.4	42.5	33.9	31.6	28.7	33.9	18.4	21.3	17.8	17.8	10.3	-	3.4	2.3		

- 祖父に期待する手助けの内容を性・年代別にみると（図表 2-6-5）、「子どもの話しや遊び相手をする」は女性 20 代（74.3%）・50 代（71.0%）で、他の年代よりもやや高くなっている。
- 「子どもに自分の経験や知恵を伝える」は男性 20 代（68.8%）で、やや高くなっている。
- また、男女とも 20 代で、「日常生活上のしつけをする」（男性 51.6%、女性 48.6%）がやや高くなっている。

図表 2-6-5 祖父に期待する手助け＜MA＞（性・年代別）

		子どもの話しや遊び相手をする	子どもに自分の経験や知恵を伝える	日常生活上のしつけをする	送り迎える	保育所・幼稚園等（日中預けている場所）の送迎	看病したりする	子どもが病気のとき、病院に連れて行ったり（レジャー等）	教育費以外の経済的支援をする（おもちゃ、洋服、外食、旅行などのレジャー等）	子どもを入浴させる	教育費の支援をする	子どもを寝かしつける	日用品や食品の買い物を	掃除・洗濯	食事の用意	その他	特になし	わからない
全体	(n=1,639)	60.5	51.9	39.4	31.6	23.5	22.5	17.9	17.7	9.3	9.1	5.5	5.2	0.5	2.9	1.8		
男性小計	(n=723)	56.0	50.9	42.7	27.1	24.8	21.2	19.4	19.4	12.3	11.8	7.5	6.4	0.3	2.8	2.5		
20代	(n=64)	67.2	68.8	51.6	18.8	25.0	25.0	26.6	9.4	21.9	7.8	6.3	3.1	-	-	1.6		
30代	(n=94)	56.4	57.4	45.7	25.5	22.3	25.5	20.2	17.0	14.9	11.7	10.6	8.5	-	4.3	1.1		
40代	(n=141)	59.6	60.3	42.6	19.9	19.1	14.9	14.2	12.1	9.2	9.9	5.0	5.0	0.7	0.7	2.8		
50代	(n=123)	56.1	50.4	35.0	31.7	25.2	19.5	17.9	26.0	11.4	9.8	3.3	6.5	-	1.6	4.9		
60代	(n=161)	51.6	46.0	44.7	31.1	26.1	21.7	16.8	22.4	10.6	14.9	9.9	6.8	0.6	2.5	2.5		
70代	(n=140)	52.1	35.0	41.4	30.7	30.0	23.6	25.0	23.6	12.1	13.6	9.3	7.1	-	6.4	1.4		
女性小計	(n=916)	64.0	52.6	36.8	35.2	22.5	23.6	16.8	16.4	7.0	7.0	3.9	4.3	0.7	2.9	1.2		
20代	(n=70)	74.3	52.9	48.6	24.3	25.7	27.1	17.1	12.9	7.1	2.9	4.3	4.3	-	-	1.4		
30代	(n=130)	68.5	59.2	36.2	30.8	19.2	26.2	13.8	14.6	6.9	6.2	3.1	3.1	0.8	3.8	2.3		
40代	(n=141)	61.0	64.5	38.3	34.0	18.4	29.1	12.1	12.8	9.9	4.3	2.1	4.3	1.4	0.7	0.7		
50代	(n=169)	71.0	60.4	39.1	40.2	23.1	21.9	20.7	16.0	6.5	9.5	4.1	6.5	-	1.2	-		
60代	(n=232)	60.3	45.7	33.6	39.2	23.7	23.7	15.1	18.5	5.2	7.3	4.3	3.4	0.9	4.3	0.9		
70代	(n=174)	56.9	39.7	33.3	33.3	24.7	17.2	21.3	19.5	7.5	8.6	5.2	4.0	0.6	5.2	2.3		

- 祖母に期待する手助けの内容を性・都市規模別にみると（図表 2-6-6）、男性では、「子どもに自分の経験や知恵を伝える」が大都市（55.0%）と郡部（町村）在住者（54.2%）で他の層の男性よりもやや多くなっている。また、郡部在住者の男性では、「食事の用意」（44.4%）や「掃除・洗濯」（40.3%）もやや多い。
- 女性では、「子どもが病気のと看、病院に連れて行ったり看病したりする」が小都市在住者（41.0%）でやや多い。また、「保育所・幼稚園等の送り迎えをする」は中都市（36.4%）と郡部在住（37.8%）の女性でやや多い。

図表 2-6-6 祖母に期待する手助け＜MA＞（性・都市規模別）

		子どもの話しや遊び相をする	子どもに自分の経験や知恵を伝える	日常生活上のしつづけをする	食事の用意	看病したりする	子どもが病気のと看、病院に連れて行ったり看病したりする	中預けている場所（保育園・幼稚園等）の送り迎えをする	掃除・洗濯	教育費以外の経済的支援をする（おもちゃ、洋服、外食、旅行などのレジャー等）	子どもを入浴させる	日用品や食品の買い物を	子どもを寝かしつける	教育費の支援をする	その他	特にな	わからない
全体	(n=1,639)	63.4	53.4	44.0	34.4	32.3	30.6	25.7	19.6	15.9	15.5	15.4	10.9	0.5	2.0	1.7	
男性	大都市	59.2	55.0	45.6	29.0	29.0	25.4	20.7	18.9	16.0	17.2	18.9	11.8	-	2.4	1.8	
	中都市	58.6	45.4	45.0	36.1	32.8	25.2	29.5	18.2	17.2	17.5	19.2	12.9	0.7	3.0	3.0	
	小都市	53.9	47.8	43.3	32.2	24.4	29.4	26.1	14.4	15.0	12.2	12.8	11.7	0.6	2.2	4.4	
	郡部（町村）	61.1	54.2	44.4	44.4	25.0	33.3	40.3	13.9	18.1	22.2	15.3	16.7	-	1.4	1.4	
女性	大都市	70.3	50.2	42.9	34.2	34.7	28.8	21.5	17.8	14.2	14.2	11.9	11.0	-	1.4	0.9	
	中都市	68.3	61.6	45.5	31.4	32.2	36.4	22.9	23.4	17.1	14.0	15.3	9.1	0.8	2.3	1.3	
	小都市	62.2	56.3	41.4	39.2	41.0	31.1	27.9	22.5	14.0	16.7	14.4	8.1	0.5	0.9	-	
	郡部（町村）	73.3	53.3	41.1	36.7	31.1	37.8	27.8	22.2	14.4	13.3	13.3	10.0	1.1	1.1	-	

- 祖父に期待する手助けの内容を性・都市規模別にみると（図表 2-6-7）、男性では、「保育所・幼稚園等の送り迎えをする」が郡部（町村）在住者（36.1%）で他の層の男性よりもやや多くなっている。
- 女性では、「子どもの話し相手や遊び相手をする」が郡部在住者（76.7%）で多くなっている。また、「保育所・幼稚園等の送り迎えをする」は中都市（36.4%）・小都市（36.9%）・郡部在住者（38.9%）の女性で、「子どもが病気の時、病院に連れて行ったり看病したりする」が小都市在住者（29.3%）の女性でやや多い。

図表 2-6-7 祖父に期待する手助け＜MA＞（性・都市規模別）

		子どもの話しや遊び相手をする	子どもに自分の経験や知恵を伝える	日常生活上のしつけをする	保育所・幼稚園等（日中預けている場所）の送り迎えをする	子どもが病気の時、病院に連れて行ったり看病したりする	子どもが病気の時、洋服、外食、旅行などのレジャー等）	教育費以外の経済的支援をする（おもちゃや洋服、旅行など	子どもを入浴させる	教育費の支援をする	子どもを寝かしつける	日用品や食品の買い物をする	掃除・洗濯	食事の用意	その他	特にな	わからない
全体	(n=1,639)	60.5	51.9	39.4	31.6	23.5	22.5	17.9	17.7	9.3	9.1	5.5	5.2	0.5	2.9	1.8	
男性	大都市 (n=169)	57.4	53.8	43.8	20.7	22.5	21.9	16.0	19.5	13.6	8.3	8.3	6.5	-	3.0	1.8	
	中都市 (n=302)	55.3	50.7	42.7	27.5	24.5	23.2	21.2	21.2	12.9	12.9	7.9	7.0	0.7	3.0	2.6	
	小都市 (n=180)	54.4	49.4	41.1	28.9	26.7	17.2	21.1	16.1	8.3	11.7	3.9	4.4	-	2.8	3.3	
	郡部(町村) (n=72)	59.7	48.6	44.4	36.1	26.4	20.8	15.3	19.4	16.7	15.3	12.5	8.3	-	1.4	1.4	
女性	大都市 (n=219)	65.8	50.7	37.4	29.7	19.6	23.7	15.5	21.0	9.1	6.8	2.7	2.7	-	2.7	1.4	
	中都市 (n=385)	62.3	54.8	37.1	36.4	22.6	25.2	16.9	15.3	5.7	7.5	5.2	5.7	0.8	4.2	1.8	
	小都市 (n=222)	59.9	50.0	36.9	36.9	29.3	22.5	18.5	16.7	8.1	8.6	4.1	4.5	0.9	1.8	-	
	郡部(町村) (n=90)	76.7	54.4	33.3	38.9	12.2	18.9	15.6	8.9	4.4	1.1	1.1	1.1	1.1	1.1	1.1	

- 20歳～49歳の有配偶者（420人）について、祖母に期待する手助けの内容をみると（図表2-6-8）、「子どもの話しや遊び相手をする」（66.9%）が最も多く、次いで「子どもに自分の経験や知恵を伝える」（62.1%）、「日常生活上のしつけをする」（43.3%）であり、上位3項目は回答者全体と同じである。
- 夫婦の就労状況別にみると、片働き世帯の女性で「子どもの話しや遊び相手をする」（77.2%）と「子どもに自分の経験や知恵を伝える」（70.7%）が他の層よりもやや多い。
- 共働き世帯の女性では、「子どもが病気の時、病院に連れて行ったり看病したりする」（41.0%）が他の層よりもやや多く、「子どもの話しや遊び相手をする」（68.1%）、「子どもに自分の経験や知恵を伝える」（62.5%）に次いで3番目に多い。
- 男女とも共働き世帯では「保育所・幼稚園等の送り迎えをする」（男性33.0%、女性36.8%）が片働き世帯（同20.0%、22.8%）よりも多い。

図表 2-6-8 祖母に期待する手助け＜MA＞（20歳～49歳有配偶者、性・夫婦就労状況別）

		子どもの話しや遊び相手をする	子どもに自分の経験や知恵を伝える	日常生活上のしつけをする	子どもが病気の時、病院に連れて行ったり看病したりする	食事の用意	送り迎えをする（保育所・幼稚園等の日中預けている場所）	洋服（外出、旅行などのレジャー等）	教育費以外の経済的支援をする（おもちゃや掃除・洗濯）	子どもを寝かしつける	日用品や食品の買い物を	子どもを入浴させる	教育費の支援をする	その他	特にな	わからない
全体	(n=420)	66.9	62.1	43.3	33.6	29.5	29.3	24.5	17.6	13.3	12.9	9.8	8.6	1.0	1.2	1.4
男性	片働き (n=90)	63.3	54.4	47.8	31.1	30.0	20.0	14.4	23.3	14.4	13.3	7.8	6.7	1.1	3.3	1.1
	共働き (n=91)	58.2	59.3	48.4	33.0	29.7	33.0	22.0	19.8	17.6	11.0	12.1	13.2	1.1	-	4.4
女性	片働き (n=92)	77.2	70.7	48.9	26.1	23.9	22.8	32.6	15.2	10.9	12.0	12.0	6.5	-	1.1	-
	共働き (n=144)	68.1	62.5	34.0	41.0	32.6	36.8	27.8	14.6	11.8	13.9	8.3	7.6	1.4	0.7	0.7

- 20歳～49歳の有配偶者（420人）について、祖父に期待する手助けの内容をみると（図表2-6-9）、「子どもの話しや遊び相手をする」（61.4%）が最も多く、次いで「子どもに自分の経験や知恵を伝える」（60.5%）、「日常生活上のしつけをする」（41.2%）であり、上位3項目は回答者全体と同じである。
- 夫婦の就労状況別にみると、片働き世帯の女性で「子どもの話しや遊び相手をする」（67.4%）が他の層よりもやや多い。
- 共働き世帯の女性では、「子どもの話しや遊び相手をする」（59.7%）、「子どもに自分の経験や知恵を伝える」（55.6%）、「日常生活上のしつけをする」（32.6%）は片働きの女性（順に、67.4%、62.0%、44.6%）よりもやや少ない。一方、「保育所・幼稚園等の送り迎えをする」（34.7%）が多い。

図表 2-6-9 祖父に期待する手助け＜MA＞（20歳～49歳有配偶者、性・夫婦就労状況別）

		子どもの話しや遊び相手をする	子どもに自分の経験や知恵を伝える	日常生活上のしつけをする	保育所・幼稚園等（日中預けている場所）の送り迎えをする	洋服、外食、旅行などのレジャー等	教育費以外の経済的支援をする（おもちゃ、看病したりする	子どもが病気のとき、病院に連れて行ったり	子どもを入浴させる	教育費の支援をする	子どもを褒めかきつける	日用品や食品の買い物を	食事の用意	掃除・洗濯	その他	特にな	わからない
全体	(n=420)	61.4	60.5	41.2	25.5	24.3	18.6	14.3	13.3	9.5	6.0	4.5	3.6	0.7	2.1	1.9	
男性	片働き (n=90)	58.9	63.3	46.7	12.2	16.7	20.0	11.1	12.2	8.9	7.8	3.3	3.3	-	3.3	-	
	共働き (n=91)	60.4	63.7	46.2	27.5	24.2	20.9	20.9	13.2	11.0	7.7	7.7	7.7	1.1	1.1	4.4	
女性	片働き (n=92)	67.4	62.0	44.6	21.7	30.4	14.1	16.3	16.3	9.8	5.4	3.3	3.3	-	2.2	-	
	共働き (n=144)	59.7	55.6	32.6	34.7	25.7	19.4	11.1	11.8	9.0	4.2	4.2	1.4	1.4	2.1	2.8	